

八草地区周辺整備に関する取組状況

1. 産業集積用地の整備に向けた検討

(1) 事業概要

八草地区の山林において、民間企業の研究開発施設などの産業集積用地を整備する。

(2) 今年度の取組

豊田市土地開発公社が事業主体となり、事業化に向け地元及び地権者との協議をし、各法令手続のための関係機関との調整を図りつつ、現況・用地測量、地質調査及び基本設計の委託を発注した。

(3) 平成24年度の取組予定

平成23年度から引き続き、現況・用地測量、地質調査を進めながら基本設計を実施し、保安林などの土地利用規制の対応をはじめ各法令手続のための関係機関との調整を進め、地元及び地権者との更なる合意形成を図っていく。

2. 土地区画整理事業等の手法による市街地整備に向けた検討

(1) 事業概要

八草地区は、第7次豊田市総合計画（H20.3）、豊田市都市計画マスタープラン（H20.3）において「拠点地域核」に位置づけられている。

公共交通機関（リニモと愛知環状鉄道）が結節する豊田市の北の玄関口として、駅周辺の活性化、居住者にとっての生活環境向上、自然環境と調和した「拠点地域核」にふさわしい良好な市街地形成に向け、地元まちづくり組織との共働による検討を進めている。

(2) 今年度の取組

昨年度整理した市の市街地整備方針を基に、地元まちづくり組織「まちづくり推進協議会」と今後の市街地整備の方向性について合意形成を図った。

(3) 平成24年度の取組予定

まちづくり協議会、地区住民及び地権者との議論を重ね、市街地整備方針の確定に向けた取組を進めていく。

3. パークアンドライド駐車場リニューアルの検討

(1) 事業概要

豊田市では 18 年度に公共交通基本計画を策定し、利便性の高い公共交通ネットワークの構築を行っている。八草駅はリニモと愛知環状鉄道が結節する豊田市の北の玄関口であり、名古屋方面及び豊田市街へのアクセスに適していることから、パークアンドライド駐車場を整備し、公共交通の利用促進を図っていく。

(2) 今年度の取組

拡張工事の実施（駐車台数：55 台から 170 台へ）。

(3) 平成 24 年度の取組予定

指定管理者による有料運用化（平成 24 年 4 月 1 日～）